



「絵本・本」の 新たな可能性をひらく

～デジタル時代の子どもの読書環境のためにできること～

【ハイブリッド開催】

2月28日(水) 16:00～18:00 (①会場参加 ②Zoomウェビナーとも
15:30より入室可)

- 会場：①東京大学本郷キャンパス 福武ラーニングシアター (情報学館・福武ホール地下2階) / ②Zoomウェビナー
- 定員 (いずれも先着順)：①会場参加150名 / ②Zoomウェビナー1000名 (ライブ視聴では質疑応答に参加できます)
- 参加費は無料です。 ●会場参加、オンラインとも、事前参加申込みが必要です。

企画趣旨

※CEDEP (東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター)

2019年8月にスタートした東京大学CEDEPとポプラ社による共同研究プロジェクト「子どもと絵本・本に関する研究」では、子どもと絵本・本の関わりや子どもを取り巻く絵本・本・メディア環境について、調査、実験、事例研究など多様なアプローチに基づき、多層的・多面的な研究を行ってきました。このシンポジウムでは、これまでの共同研究の成果に基づき、子どもたちの読書環境の今と未来について考えていきたいと思います。

研究報告では、現代の子どもを取り巻く読書環境 / デジタル環境の実態、発達との関連について検討した調査研究、子どもにとっての紙の本 / 電子書籍それぞれの特徴について検討した実験研究、デジタルを活かした実践例などを中心に共同研究の成果や関連する研究の知見を紹介します。その後、子どもの発達、教育実践・政策、出版それぞれの視点からの専門家のコメントを通じて、デジタル時代の子どもたちの読書環境をより豊かにするために様々な立場の大人たちができることについて考えます。皆さまのご参加をお待ちしております。



プログラム

※プログラムは変更となる場合がございます。

開会挨拶

遠藤 利彦 (東京大学大学院 教授 / 発達保育実践政策学センター センター長)

共同研究について

高橋 翠 (発達保育実践政策学センター 助教)

研究報告

「子どもの読書環境・デジタル環境の実態と発達との関連」

大久保 圭介 (発達保育実践政策学センター 特任助教)

「子どもの読書の新たな可能性とそれを開く鍵」

佐藤 賢輔 (発達保育実践政策学センター 特任助教)

指定討論 / コメント

秋田 喜代美 (学習院大学 教授 / 東京大学 名誉教授)

千葉 均 (株式会社ポプラ社 取締役会長)

遠藤 利彦

ディスカッション・質疑応答

上記登壇者

閉会挨拶

浅井 幸子 (東京大学大学院 教授 / 発達保育実践政策学センター センター長)



▲瀬戸SOLAN小学校 電子書籍を活用する授業の様子



▲研究報告 / 実験研究の様子

※セミナーの様子は後日録画配信いたします(一部プログラムを除く)。

〈取材の方向け〉
メディアセッションの
申し込みもこちらから



シンポジウムの詳細・申込みはこちら

URL www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/eventlisting/symposium/20240228symposium/

●申込みは一人ずつお願いいたします。●お問い合わせにつきましては、お返事までに数日お時間をいただく場合がございます。

登壇者プロフィール

秋田 喜代美

博士(教育学)。学習院大学教授、東京大学名誉教授。専門は教育心理学、保育学、学校教育学。発達保育実践政策学センター初代センター長。日本発達心理学会代表理事。文部科学省令和4年度子供の読書活動推進に関する有識者会議座長などを歴任。『読書の発達過程読書の発達過程—読書に関わる認知的要因・社会的要因の心理学的検討』(風間書房)、『あたらしい園内研修の形』(フレーベル)など著書多数。



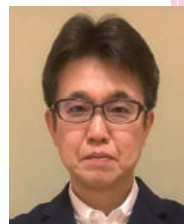
秋田 喜代美

遠藤 利彦

博士(心理学)。東京大学大学院教授、発達保育実践政策学センター(CEDEP)センター長。専門は発達心理学、感情心理学、進化心理学。『「情の理」論』(東京大学出版会)、『赤ちゃんの発達とアタッチメント』(ひとなる書房)など著書多数。NHK Eテレ『すくすく子育て』に出演。



高橋 翠



遠藤 利彦

高橋 翠

修士(教育学)。発達保育実践政策学センター助教。専門は発達心理学。全国の保育・幼児教育施設や図書館を対象とした子どもの絵本・本環境に関する調査を担当。『生涯発達心理学(3章・4章)』(ナカニシヤ出版)などの分担執筆。



佐藤 賢輔



大久保 圭介

大久保 圭介

博士(教育学)。発達保育実践政策学センター特任助教。専門は発達心理学で、親子関係や子育てに関する研究を中心に行っている。本共同研究では、読み聞かせやデジタルメディアの使い方などに関する保護者調査を担当。『入門アタッチメント理論:第6章』、『ステップアップ心理学シリーズ発達心理学:第8章』などの分担執筆。

佐藤 賢輔

修士(教育学)。発達保育実践政策学センター特任助教。専門は発達心理学。本共同研究では、絵本とデジタル絵本の比較や読書と子どもの想像力の関連についての実験研究などを担当。

千葉 均

株式会社ポプラ社取締役会長。1962年宮城県石巻市生まれ。東京大学医学部保健学科を卒業後、生命保険会社、シンクタンク、証券会社、コンサルティング会社などの勤務経験を経て、2009年にポプラ社に入社。業務管理局長、営業本部長を経て2016年に代表取締役社長に就任。2024年1月より現職。



千葉 均



開催会場のご案内

東京大学本郷キャンパス内 福武ラーニングシアター
(情報学館・福武ホール地下2階)

住所: 東京都文京区文京区本郷7-3-1

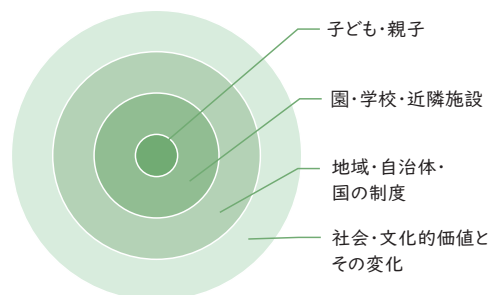


お問い合わせ先

※参加申込サイトの問い合わせフォームから
お問い合わせください。

共同研究について

CEDEP×ポプラ社の共同研究「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトは、「絵本・本」の価値を学際的アプローチで明らかにし、知見に基づいて子どもを取り巻く読書環境を改善することを目的としています。子どもを取り巻く絵本・本環境を、エコシステムとして多層的に捉えた上で、子ども・家庭一園一地域それぞれのレイヤーの実態や関係性を把握するための研究を実施しています(右図参照)。なお、エコシステムの考え方は、発達心理学者U.ブロンフェンブレナーによる、人の発達を「人と環境(文脈)が相互作用し合うシステムのなかで複雑に規定される」ものとして捉える生態学的アプローチを参照しています。



東京大学CEDEP×ポプラ社共同研究プロジェクト特設サイト

▼研究活動や研究成果、セミナー等での発表資料をわかりやすく紹介しています

<https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/cedep-poplar/>

